

# 木オだよソ

社会福祉法人 東香会  
しぜんの国保育園 small village

Sept. 2022



法人理念

**いきいき**

- 子どもの成長・発達・生活に寄与する人はすべて保育者
- 永続的な暮らしを目指し、物質と事象と生命との関係性を深める
- 地域で安心して子育てができるように

## 月主題 水の音に みみをすます

一緒に生きようね。

今日の防災訓練。毎年、関東大震災のこと、東日本大震災のこと、日本で起こった災害、そして一人一人の命について話をしています。

この日は、誕生会で話すのとは違う心持ちで子どもたちの前に立たせてもらっています。

ひとつ、ひとつ、真剣に話を聞いてくれる子どもたちを目の前にし、思わず、この言葉がこぼれ落ちました。

先日夕飯を食べながら、息子がポツリと言いました。「保育園ってさあ、本当に育てるだけじゃないね、大人も育てているんだね」母親の日々の話を聞いて、そう感じたのでしょうか。そうなのです、あなたの母は、子どもたちと一緒に育ち、子どもたちと共に生きているのです。そして周りには保育者という仲間、共に手をたずさえている保護者のみなさんがいます。

一緒に「緒」は「糸」と「者」が結ばれて成り立っています。ひとり、ひとりの命の糸を結び、心をおきながら2期を迎えたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。

園長 齋藤美和



## 9月 の予定

引き渡し訓練  
誕生会  
自然体験  
歯科検診

### お知らせ と おねがい

●本日は引き渡し訓練にご協力いただき、ありがとうございました。引き渡し訓練の様子とともに、園の避難の流れや近隣の避難所などを別紙防災の日だよりにて載せております。また当日の様子や備蓄品の一部など園内に掲示しておりますのでお子様と一緒にご覧ください。

●歯科検診です。登園のご協力をお願いします。

●登降園時の打刻についてですが、最近打刻漏れが多くなっています。**登降園の際は必ず打刻を忘れず**をお願いします。また、ごきょうだいで登園されているご家庭に関しましても必ずきょうだい分の打刻をお願いします。

# じむしょ 小窓 だより

9月1日 防災の日。

本日、しぜんの国保育園では年に一度の引き渡し訓練が行われました。コロナ禍となってからは2年ぶりとなる保護者の方と共に行う引き渡し訓練。引き渡し訓練を初めて経験する子ども多い中、ホールでの集いで真剣に耳を傾けていた幼児組の子どもたち。「地震がきたら頭を守るんだよね」「火事になったら口をおさえて悪い煙を吸わないようにする！」と次々に意見が出てきます。毎月の避難訓練を通して積み重ねてきていることが行動や言葉で表される時間でもあります。看護師から「AEDはどんな時に使うのか」「怪我をしてしまったら」などの話し、給食職員からは「災害時に火を使わなくても食べられる非常食」の話しを聞きます。そして「もし保育園にいるときに災害が起きたらみんなはどうする？」という観点をもとにしぜんの国オリジナルの大型紙芝居を上島さんが披露します。描かれている背景はいつもみんなが過ごしている廊下や部屋も描写されているので、より身近に感じることができ子どもたちからも様々な気づきが生まれています。

毎月の避難訓練でも幼児組はチームでセッションを行い、子どもたちと大人で必ず振り返りを行っています。積み重ねて行く中で、4月当初はあまり集中できなかったつばき組も今では同じチームのお兄さん、お姉さんの話しに真剣な表情で耳を傾けています。乳児組では避難訓練時、子どもたちへは安心できる働きかけをし、職員間では避難訓練の振り返りを行います。

もし災害が起きたら？

日頃からたくさんのお話を重ねている私たちですが、同じ場所で暮らす子どもたちと大人が共に考えること。子どもたちを通して繋がっている保護者の方々と私たちが共に考えること。この「防災の日」は改めてその重要性をより深く考える日でもあります。今日、この日に感じたことを心に留めながら今後も災害への意識を高め続けていきたいと思えます。

マネージャー 鈴木絵美

## こども 村インタビュー

防災の  
日編

防災の日、お昼ご飯は非常用カレーでした。アルファ米というお水を入れて出来上がるご飯を食べた子どもたち。色々と感じるものがあったようです…

「お水入れたお米、ふつうのお米とめっちゃ似てるね」

「このお米、パパがおうちでもらってきたことあるんだよ」

「これはどこで売ってるの？」

「うちにはないんだよね。だいじょうぶかなあ。」

# 保育者 リレー エッセイ

第6回目の担当は、すみれ組担任の高岡佑衣さんです。  
【好きなことを語る時の表情が素敵なゆんさん。  
中でも熱を注いでいるモノづくりへの思いの起源を教えてください。】

さとみさん、バトンありがとうございます。

もの作りは幼い頃から好きで、お小遣いが無い中でどう自分の欲しいものを作ろうかと考え、身の回りにあるものや手に入るもので生み出すことが好きでした。特に人に対するプレゼントを考えることが好きで、幼稚園生の時の夢はラッピングがしたいが為に花屋さんと書いていたり、小学生の頃、折り紙などで工夫してクラッカーを作り、お祝いしたりした記憶もあります。今でもお店で行なってもらったラッピングに手を加えることは多く、家具や洋服でも手に入らないものや、頭で思い描く物を、どうにかして自分で作れないかと考え、作ってみることが好きです。

道具を見るだけでわくわくしたり、ものが出来上がっていくのを見るのが楽しかったり、ただただ触ってみるのが楽しかったりする感覚は、子どもたちと過ごしていても共感することが多く、頭で考えすぎず思うがままに表現して出来るものの面白さも感じられるので私は自分自身が夢中になってものを作るのも好きですが、子どもたちのもの作りを見る事も好きです。

これからも夢中になってものを作る楽しさや、頭の中のを自分なりに表現する面白さを子どもたちと一緒に楽しんでいきたいなと思っています。

今回は・・・その場に居るのに居ないようなすと空気に溶け込む雰囲気を感じられて、難しい言葉は使われていないのに心惹かれる文章を生み出される井尻さん。憧れる保育者の一人です。その秘訣とは？

## かみじま のんびり 漫画劇場

## 「 のりせんべい 」

文・絵 かみじまたるひ



INFO

たるおじさんの紙しばい新作「どうぶつさん」YouTubeにて公開！

<https://www.youtube.com/watch?v=EUfgsOWI6Y4>